



聖騎天翔

ブルーアイズ2

前回までのあらすじ

各地で跋扈する  
怪人達の脅威を退けるべく

少女ハヅキ・セオは  
バトルフォーム  
「ブルーアイリス」  
に変身して戦いに  
身を投じるのだった。

ブルーアイリスは怪人の  
策略により悪趣味なショーに  
参加させられる。

仕掛けにより能力を封じられた  
ブルーアイリスは防戦一方を  
強いられてしまう。

散々痛ぶられた後に待っていたのは  
媚薬投与による苛烈な快樂責めだった。

観衆の好奇心な目に晒されながら  
無理矢理イカされてしまうのだった。

そしてショーは後半に向かう……。

# Chapter 1

聖騎天翔  
ブルーアイズ

くっ……  
拘束されたらもう……

さあお待ちかね

ここからは観客の皆さん  
も参加してもらおうよ

みんな  
でブルーアイリスを  
可愛がってあげてね





さあ、ブルーアイリス  
ここからは僕達と  
遊ぶ時間ですよ



安心してください  
あなたの美しいカラダに跡が  
残るようなことはしませんよ

この鞭は特製でね  
打撃としての威力は  
抑えられている

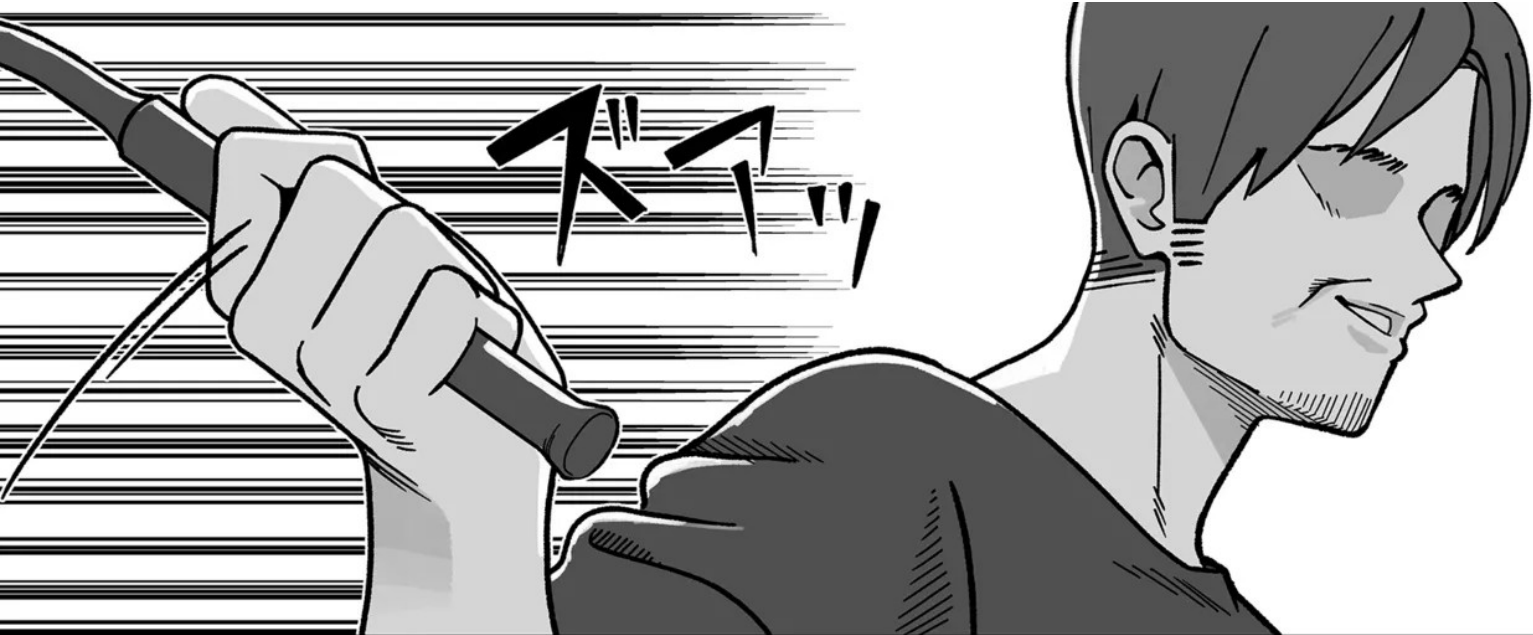
ただし



ブルーアイリス  
対怪人対策に目覚ましい  
活躍を続けてきた君が…



そんな怯えた表情を…  
ああ……たまらないよ



電撃を放つ  
特殊仕様なのですが

あああ!!?



いかがですか  
 純粹な苦痛だけを与える  
 それが電撃……



くっ……あう……

ピリッ



さあ  
 もう一発です！

くっ……この人達  
 この禍々しい雰囲気、  
 普通じゃない！

うっああッ！！

怪人達はいったい、  
 この人達に何をしたいの!?

バァッバァッ



どうですか！  
私の鞭の味は！

さあ！

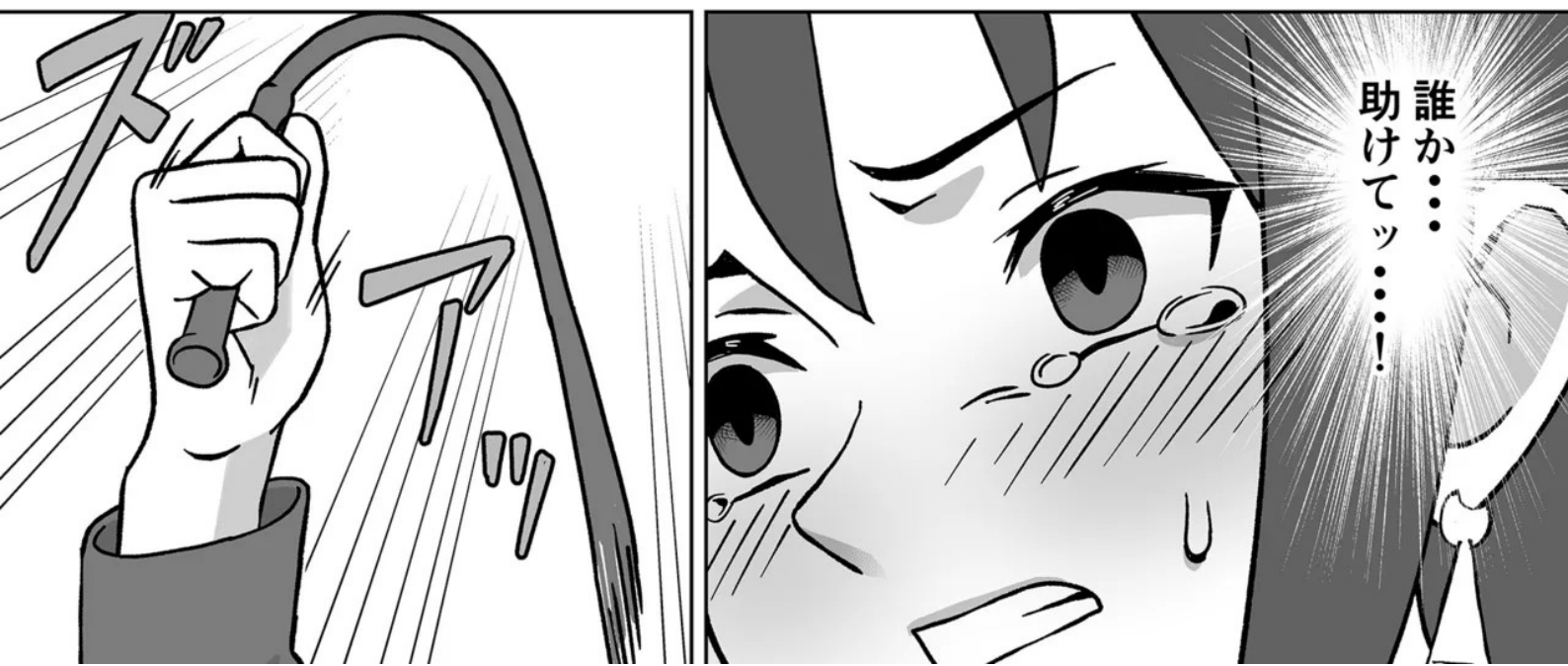
ブズッ

今は…  
耐えるしかッ…！



我々も  
負けていられませんな

ふふふ



誰か…  
助けてッ…！

さあ！  
もっと良い鳴き声を  
聞かせてください！

は  
う  
ら  
ッ  
バ  
ッ  
チ

グ  
ッ  
チ

本来守るべき市民から  
理不尽な責め苦を受けて

なすすべもなく！

あ  
あ  
ッ

ただ耐え忍ぶ事しかできない  
そんなあなたの鳴き声を！

や  
め  
ッ  
ッ

あ  
う  
ら  
ッ  
ッ

グ  
ッ  
ッ



もう  
やめて……



何を言ってるんです？  
1番のお楽しみは  
これからですよ？



おねがい……  
ハア

限界なの……  
ハア



え？



この鞭は柄にスイッチが  
ありましてね  
オンにすると持続的に  
電撃を放出できるのです

瞬間的な電撃だけじゃなく、  
長時間継続する電撃を  
味わってみたいと思いませんか



例えば

コ・コ・で

えっ!?

ズムッ



やめッ...



待って

おねがい...



カチッ

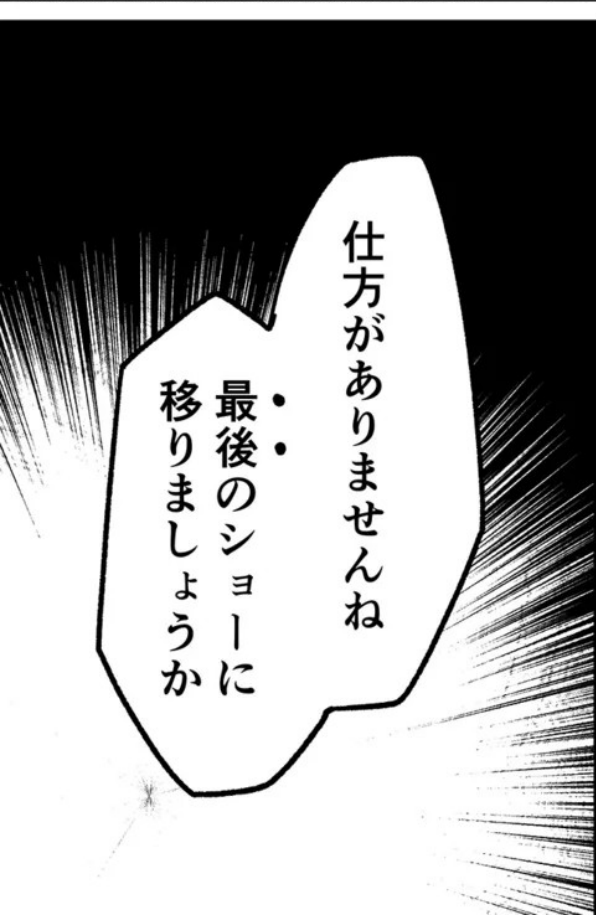
ノブリ

ノブリ

レガアアア!!!

ノブリ

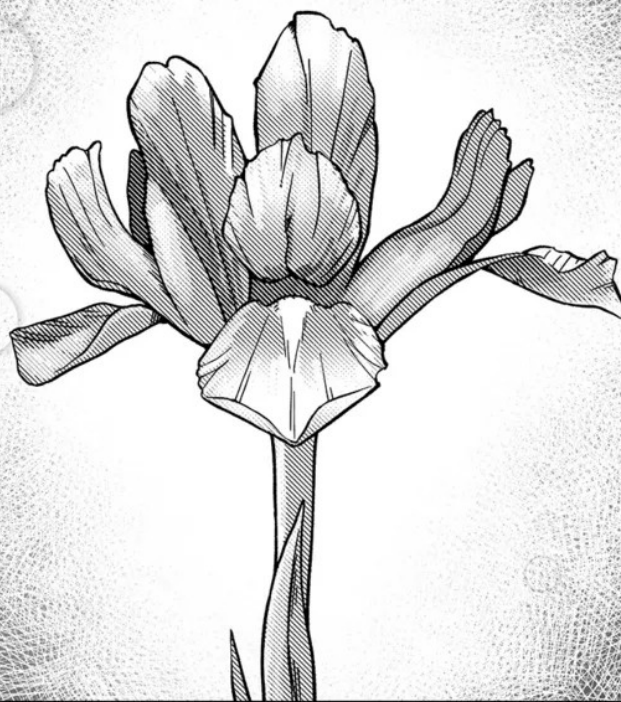




# Chapter 2

聖騎天翔  
ブルーアイズ

例えば荒野に咲く  
一輪の花



それが美しく、  
可憐であるほどに  
壊してしまいたく  
なるもの……

あなたへの劣情は、元々彼ら  
自身の内に持つもの

会場に充満させた催淫ガスの  
効力で、サディステイックな  
欲望が少し暴走している  
みたいだね

さあ、見せてちょうだい  
美しく咲く一輪の花が、  
人間の欲望に  
蹂躪されるところを……





たくさん虐めちゃったから  
代わりにいっぱい気持ちよく  
させてあげるからね

駄目ッ・・・苛烈な電撃責めで  
身体中が弛緩して抵抗できない・・・!!

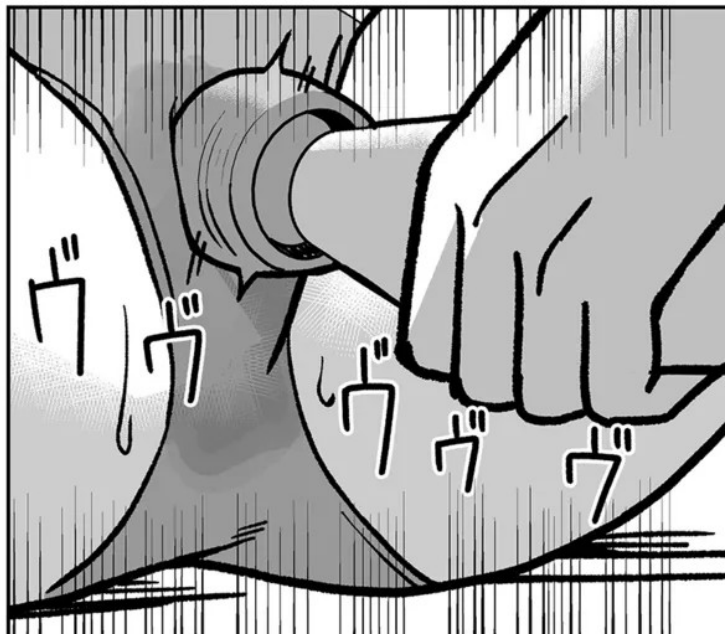
それに、責められると  
媚薬の感覚がどんどん  
戻ってきて身体が熱くッ・・・!!

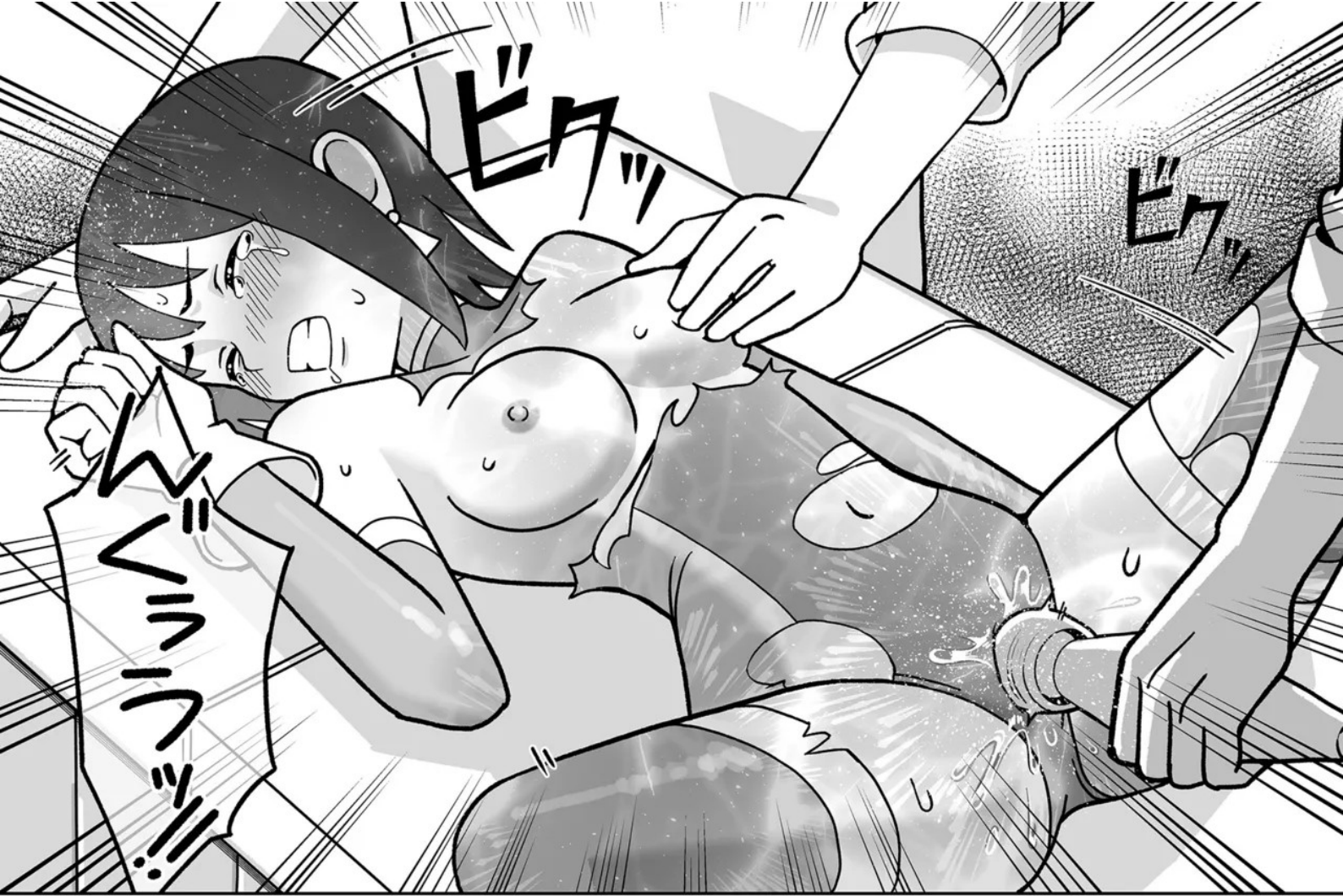
ほら、とりあえず  
一回イッてみましょう

やああッ!

ダメダメダメッ!  
止めてお願い!

ああああ...





お願い、少し休ませて・・・  
頭がおかしくなりそうで  
辛くて・・・



上手にイけましたね  
その調子でもっと  
いっぱい気持ちよ  
くなりましょうね

くっ・・・  
身体が敏感になりすぎて・・・  
こんなにもすぐに・・・





はぁ!!

ビクッ  
ビクッ



うそっ!?  
いくのがとまりなの...!!

ビクッ  
ビクッ

はぁ!!



イキ続ける……!!

あああッ

ググググ

ググググ

ピクッ

ピクッ

ムム

ムム

ムム

ムム



その後もさんざんイカされて...

...して

ん?



お願い...  
もう抵抗しないから...

その...  
ほ、奉仕、しますから

はあッ

はあッ

だからもう乱暴にイカせるのはやめて...

優しくシてくださら...



あぁ、素晴らしい

...



今度は  
こちらで



そんな風に言われたら  
こちらも更なる責めでお返しするほかないでは  
ありませんか

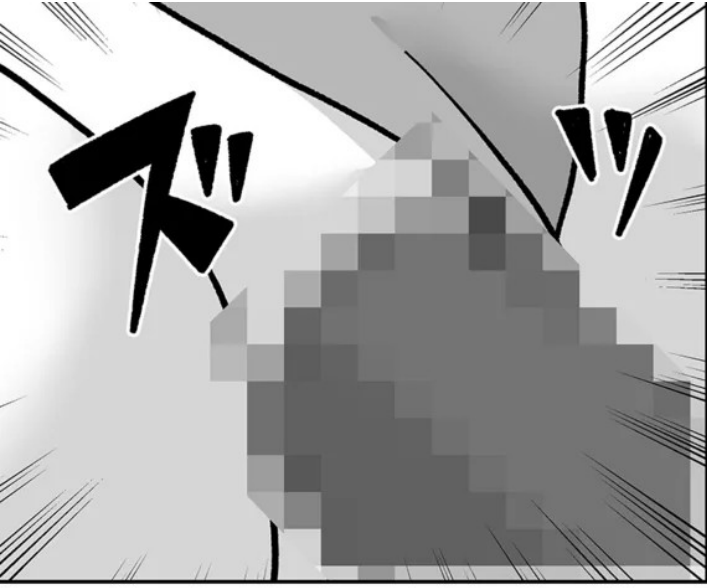
可愛らしく  
懇願して…

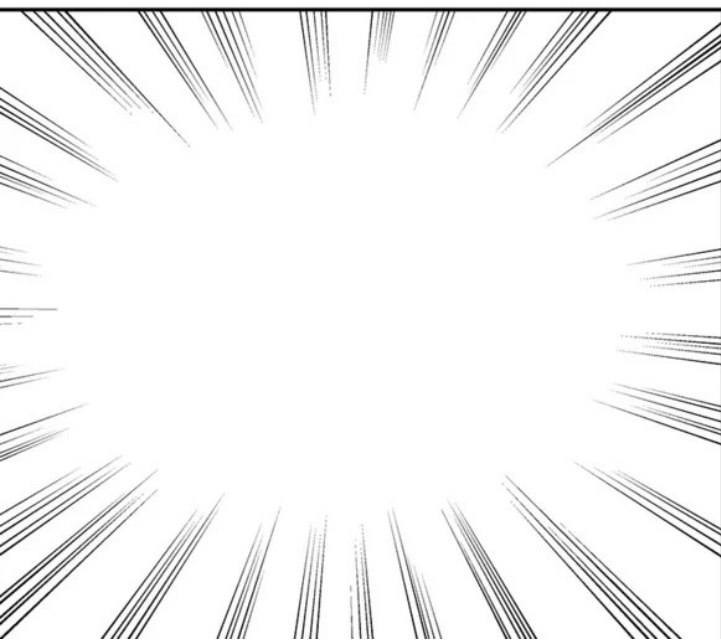
最高の仕上がりですよ  
正義のヒロインとしての  
矜持が全て打ち砕かれて



あぁ…  
私、犯されるんだ…


なにを怖気付いているのです？  
こんなもの数々の怪人を  
相手取ってきたあなたにとって  
脅威ではないでしょうか？











休むことのない輪姦は2時間にわたり続けられた。  
ちようど会場中の観客全員がブルーアイリスを弄んだ頃、  
図ったように会場のナノマシンジャマーの効力が無くなった。  
ブルーアイリスは能力を取り戻し、何とか脱出をするのだった。

怪人達と彼らに与した市民らは  
まだ捕まっていない。

ブルーアイリスは今回の一件で  
その身に受けた恥辱をすすぐべく、  
より一層強くなる事を心に誓うのだった。

この度はご購入、またお読みいただき誠にありがとうございました。  
もともとR15くらいのちよいエロ的な軽い読み物として  
描こうとしていたのですが、もっとハードな展開が見たい！  
という声が結構多かったので多少調整してみました。  
(がどうでしょうか。)

1から続く話としては一旦終わりになります。  
が、キャラクターは好きなのでまた別の話を  
描きたいなと思っています。

次作も気長にお待ちいただけると幸いです。

かくなる上田

@kakunaru\_ueda



## ハツキ・セオ (ハツキのほう为名前)

新東京市アルファ区学園高等部2学年

162cm/42kg

対怪人用強化ナノマシンの力により、バトルフォーム

《ブルーアイリス》に変身して戦う。

退魔のエーテルを結晶化し、武器を作り出すことができる。

# 聖騎天翔 ブルーアイリス

## 聖騎天翔ブルーアイリス2

発行者/発行サークル：かくなる上田

発行日：2025/1/05

本作品はフィクションです。

実在の人物・団体・出来事・場所などに  
一切関係ありません。



本作品のすべての権利は作者(かくなる上田)に帰属します。  
無断で本作品を複製、配布、改変することを固く禁止します。  
また上記行為は著作権法違反となりますので、発覚した場合  
法的措置を取らせていただくことがあります。

All rights to this work are reserved by the author.  
Unauthorized copying, distribution,  
or modification of this work is a violation of copyright law.  
If any illegal act is discovered, legal action may be taken.

本作品的所有权利归作者所有。  
未经授权，不得复制、分发、修改本作品，否则构成侵犯著作权。  
如发现任何非法行为，将采取法律措施。